

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 12 月度理事会議事録

平成 22 年 12 月 15 日（水）午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 42 クラブ(欠席クラブ無し)

池田協会長挨拶

- ・いよいよ師走で皆さん忙しくされている事と思います、先日の合同納竿大会が最後の釣り大会の行事となり、理事会も本年最後となります、今年も大きな事故もありませんでしたが、年末にかけても注意して下さい。
- ・藤原副会長を議長として 19 時 05 分議事に入る。
- ・議事前に、全日本カレイのラッキー賞品の授与を行う

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟本部年末総会報告（池田協会長）

（連盟議事録から転載）

平成 22 年度連盟会長・副会長・協会長・本部役員会議事録

日時：平成 22 年 12 月 4 日（土）16 時 00 分～19 時 58 分

場所：新大阪丸ビル新館 4 階 402 号会議室

■会議に先立ち、岩田連盟会長の挨拶。

・本会にご出席ありがとうございました。今期行事も本会と明日の年末総会を残すのみとなりました。各協会提出案件の審議および来年度行事日程の採決をおこない、明日の総会において承認を求めたいと存じております。各位にはよろしくご協力願います。また、本日は木村宮城協会長のご出席を得ております。普段会う機会が少ないと思いますが、先の宮城協会 40 周年に対するお礼も述べたいとのことです。

木村宮城協会長

◎宮城協会長の木村です。協会長各位には、突然の 40 周年の案内状送付に大変失礼いたしました。行事の方は、連盟会長をはじめ各協会から多数のご参加をいただき、宮城協会会員一同大変感激しておりました。周年行事を通じて宮城協会の結束も一段と高まりました。この場をお借りし、改めましてお礼申し上げます。

■審議 1

部局報告

事務局（大田事務局長）

- ・本会と年末総会に欠席の協会は備後協会・愛知協会・青森協会の三協会であります。尚、平成 23 年度新年総会の案内状をメール便にて発送いたしました。出欠および委任などを問うハガキを同封しています。期日までに必ず返送してください。

大物部（としだ大物部長）

- ・今年度の大物申請は、12 月 10 日（金）を以て締め切ります。次に現時点の大物申請数は 19,931 件であるが、最終的には 22,000 件程度になる模様です。
- ・ラミネート加工を施した日本記録魚拓の一覧表を配布いたします。以前にも報告しましたが、保存管理には今までの紙保存に対するリスクは改善されております。
- ・過去からの日本記録魚拓について引き継ぎの拙さや当方の不手際もあり、一部について紛失しているものがあります。ラミネート加工を採決したおり、その旨報告はいたしました。改めまして関係者の方にはお詫びいたします。今後も可能な限り再調査をおこない、その結果を連盟会議に於いて報告いたします。
- ・関連として以前は返却希望の方には要望通りとしていたと聞きます。その件と保管方法をご存じの方にお伝えしたいのですが。

◎前島鳥取協会会長・日本記録が更新されたとき、前記録の魚拓は希望があれば返却しても良いとされていた。しかし、慣例ではあるが殆どの場合、大物部で保管していたと認識している。

- ・連盟会長、関連事項を議事録にて確認すると平成 21 年の新年総会に於いて日本記録の魚拓は連盟所有とし、返却はしないと承認されております。
- ・と시다大物部長・いずれにしても、承認されている事項以外にも記録申請～管理について検討をおこない、すべて明文化し、投げ釣り手帳等に掲載するよういたします。次に大物 300 号達成者に伴う規約の改正案を配布いたします。現時点では 6 項目について連盟会議に於いて採決されていますが、審議未了として残された事項は、来年度の大物部会で審議をおこない、連盟会議に諮ります。

会計部（野村会計部長）

- ・現時点（11 月 17 日）の収支報告書を配布いたします。要点として、前期繰越金は記念事業の収入が含まれていることから、それを差し引いたものが本来であります。また、赤字部分を前期繰越金から、取り崩すと若干の赤字が予想される。

キャスティング部（松井 SC 部長）

- ・来年度から北海道協会主催として開催が予定されている北日本 SC 選手権大会ですが、記録を公認とする上での諸条件を明記した資料を配布いたします。要点として開催は連盟会長または連盟会長が指名する公認審判員が立ち会う事や全日本サーフ会員 40 名以上の参加申し込みが必要などあります。その他詳細については配布の資料により、確認してください。
- ・今年度の SC 日本記録およびベスト 10 表彰一覧を配布いたします。併せて表彰費の見積書も配布いたします。
- ・SC 遠投賞およびポイント賞の（いずれもバッジ）申請制度がありますが、以前から申請が少なく、今年度は僅か 1 件の申請に止まっているのが現状です。この先に於いても、多くの申請も考えらず、前任者から引き継いでから、何年も経過しており、経年による品質の劣化（腐食）なども危惧する。また、在庫管理に手間を要していることから、廃棄または贈呈などを検討していただきたい。
- ・帷企画部長、SC 選手権大会に於いて該当種目の副賞として贈呈しては良いのでは。
- ・大石議長、ただ今の帷企画部長以外にご意見はありませんか。

◎本会は、決め手となる意見も無いことから、企画部長の提案を挙手によって賛否を問う。賛成多数として採決した。

資材部（蔦資材部長）

- ・全日本サーフのステッカーですが経年劣化のため、粘着力に不安があることから、販売には適さないものと判断し、赤色 2,136 枚・青色 2,228 枚の合計 4,364 枚を各協会に無償配布しました。
- ・昨年から、全日本サーフのロゴ入りライフジャケットを扱うようになりましたが、現在までに 450 着を販売しました。
- ・ロゴに関連して協会ロゴについては制作に日数を要することから、扱いをしないことになりました。尚、全日本サーフのロゴ入りのものは、ベストタイプ・ウエストタイプとも、それぞれ 5 着（青色）在庫しております。尚、注文に際して 10 着以上の場合は送料不要です。
- ・ネームシールの注文は 30 件以上となっているが、今年は 2 協会分合計 4 件の注文しかありません。まとまった段階で、来年 4 月頃までに製作してほしいとメーカーに伝えておりますが、30 件に満たない場合でも、製作の交渉はおこなってみます。

広報部（渡部広報部長）

- ・全日本サーフのリーフレットを製作し、各位のご協力により、釣具店さんなどに設置していただきましたが、それから二年が経過しており、釣具店さんの中では無くなっているところもあると聞きます。したがって再配布の設置先がありましたら、必要とする数量をお知らせください。尚、在庫の都合もありますので、早めに数量の連絡をお願いします。
- ・日本記録魚に匹敵する釣魚や釣り大会で優勝のおり、撮影する写真についてです。両件とも、ホームページに掲載いたします。多くの方が羨望を持って見るものです。誇りある記録に相応しく、極力身だしなみを整えて撮影していただければありがたいと思います。

企画部（帷企画部長）

- ・2011 年度のキス段位制のポイント獲得に関連するメーカーさんの競技会日程を配布いたします。尚、対象メーカーさんの中で、サンラインさんのみ回答がありませんでした。また、今年度の成績として二級が 9 名・三級が 21 名です。予想では一級も間もなく達成者がでると思います。さらに一年後には初段の誕生が見込まれます。

事故防止部（谷後事故防止部長）

- ・事故防止規約の改定案を配布いたします。中で、11 月常任理事会に於いて、一部文言の削除をすることになり、そのように修正しております。

◎前島鳥取協会長・この規定は連盟大会に限ってのものでしょうか。

- ・連盟会長、連盟が主催する行事については、この規定を適用するが、プライベート釣行などは必ずしも強制適用するものとは考えていない。
- ・渡部広報部長、保険会社の見解として、事故に遭遇した場合、規定にあるヘルメットの着用有無は保険の適用には関係ありません。
- ・本会の審議により、再度一部文言の修正をおこなうよう、事故防止部長に要請した。引き続き、谷後事故防止部長より、今年度の事故防止講習会の開催状況が報告された。
- ・講習会未開催の協会が三協会あります。何らかの事情により、開催できなかったものと思いますが、重要な行事です。来年度は必ず開催をお願いします。また、事故報告も届いておりますが、今年度のまとめは、新年総会で報告いたします。

編集部（伊達編集部次長）

- ・今期も遅滞することなく 6 回の発行ができました。これも原稿提出の期日や「協会便り」などに於いて多大なご協力いただきましたお陰であると感謝いたします。次にお願いです。協会記念事業を開催される場合、要項を掲載したいと思いますので、編集部までお知らせください。
- ・新企画として「釣り私の人生」をシリーズとして掲載しています。順次協会さんに依頼しますので、そのおりはよろしくご協力願います。

環境部（渡辺環境部長）

- ・今年度のクリーンアップ事業（釣場清掃など）は、全協会さんに実施していただき、中では二回以上実施していただいた協会さんもありました。改めてお礼申し上げます。尚、実施の詳細について協会別一覧表を作成しておりますので、ご確認願います。また、各協会長さんには、協会として事業に取り組む姿勢を表明していただき、全日本サーフのホームページ「クリーンアップ便り」に掲載しております。こちら、見ていただければ、協会長さんのお考えが良く分かると思います。尚、実施後の報告は二週間以内をお願いします。
- ・次に回収したゴミ処理に関してですが、行政の協力を得るのが困難な協会もあると聞きます。その意味で現在、行政の協力を得られている協会さんには、要請するにあたり、良策がありましたら環境部までお知らせください。来年度は、本部環境部と協会環境部との間で、意思疎通を図り、本部が支援することがあれば大いに協力するよういたします。
- ・最後に、全日本サーフのクリーンアップ事業は釣場清掃だけが目的ではありません。森林植樹や稚魚の放流などにも力を注ぎ、環境全体に寄与することです。

■審議 2

第 93 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会成績報告

PT 大分協会 永松大分協会事務局長

- ◎大分協会は、井上協会長のもと初の PT を担当いたしました。不慣れな部分を各位のご協力により、無事終了いたしましたことをお礼申し上げます。それでは成績表の配布と入賞明細の報告をいたします。今大会の優勝者は全カレイ二連覇となりました宮城協会・東北サーフの三塚誠さん（イシガレイ 56.7 ㌔）。他魚は広島協会・呉キャスターズの荻野晋さん（マダイ 76.5 ㌔ 1.093 ポイント）でした。入賞の詳細ですが、参加申し込み（1909 名）の 20%である 382 名が対象者となります。割合は 4 : 1（本賞 306・他魚 76）です。また、楯表彰は、入賞 382 名の 30%115 名であり、割合は同じく 4 : 1（本賞 92・他魚 23）です。

- ・連盟会長、副賞（釣具）は、従来通り本賞 40 位・他魚 10 位としました。但し、今回は本賞に同順位が二名いましたので、その分プラスしております。また、飛び賞として本賞 11 位～40 位（同順位のため 32 名）に 3 賞・他魚 6 位～10 位に 1 賞とブービー 1 賞を用意しました。尚、ラッキー賞は提出のあった審査票から副賞該当者を除いて明日の年末総会に於いて抽選いたします。併せて、副賞購入についてですが、会報に広告掲載をいただいているメーカーさんの商品に限定、同じく購入も小売店さんとする。それ以外にも、副賞に関する運営のすべてを明文化した資料を配布いたします。PT 担当協会さんには、大会事務作業と同時に、副賞も手掛ける希望がある場合は、本部事務局までご連絡ください。

■審議 3

協会提出事項

大田事務局長

- ・提出事項は大阪協会、北陸協会、千葉協会、大分協会の 4 協会からありました。

池田大阪協会展長

- ◎大阪協会は、4 件の事項があります。一番目として会員拡充策の中にある新規加入者（復帰者含む）の初年度連盟会費は免除し、大物図鑑も進呈する制度を延長してほしい。二番目は、連盟主催の釣り大会に作成する参加バッジを廃止し、賞品や大会の PR に反映してほしい。三番目は大物賞申請システムに異種枠表彰者のリストアップ機能を追加してほしい。四番目として会員拡充策を審議し、連盟会議に向け、具体的に提案する専門部を立ち上げてほしい。
- ・連盟会長、最初の会費免除の件ですが、制度は一年限りとしたものではありません。採決にあたり、制度が運営上著しく支障を来す場合は連盟会議で改善を図るとしたものです。したがって支障の報告も届いておらない現状です。継続しておこなうことに異論はありません。二番目の参加バッジ廃止の件ですが、当初は、バッジに込められた意味や目的がありました。その一方では時代の変化とともに当初の思いは薄れてきていることも事実です。しかし、直ちに廃止すると言うよりも協会に持ち帰っていただき、広く会員さんの意見も聞いてみたい。その結果を連盟会議で検討いたします
- ・としだ大物部長、大物賞申請システムの件ですが、提案は大物部としても誤発行を防ぐことに於いても必要に思います。したがって見積りを取り寄せて、連盟会議で検討いたします。
- ・連盟会長、会員拡充策に関し、専門部立ち上げの提案ですが、来年度から、全日本サーフの中長期を見据え、会員拡充策も含め、組織のあり方などについて検討する場が必要と思い、具体的には 2020 年までの 10 年先まで視野を広げ、名称を 20（ニイマル）委員会なるものを立ち上げ、そこで検討した内容をまとめていただき、連盟会議に於いて審議・実現化を計りたい。

三上北陸協会展長

- ◎キスの段位制の件ですが、段位獲得者のモチベーションを如何に高め、持続させることについて、例えば段位獲得者のための競技会を開催するなどの思いは無いのか。
二番目として、協会のオープンイベント開催にあたり、事前に投げ釣り手帳やホームページに予告および成績の掲載、さらに協賛メーカーさんを掲載してはどうか。
- ・帷企画部長、キスの段位制について北陸協会さんのご意見は大変建設的であります。ご指摘の競技会を名称は今後のこととして、名人戦的なものとしてルール及び内容などを連盟会議で検討したいと思います。
- ・連盟会長、オープンイベントの目的の一つに広く釣りファン参加していただき、結果として加入に結び付けたいとのことです。本部としても未開催の協会さんに、開催を呼びかけると同時に助成金の制度も設けております。呼びかけについては、手帳や会報でおこなうことは可能です。また、予告や成績については、以前から開催協会から提出いただいたものを写真とともに全日本サーフのホームページに掲載しております。尚、協賛メーカーさんの掲載は、メーカーさんの思惑もあり、こちらの目論見だけでおこなうことは困難に思います。

町田千葉協会展長

- ◎大物バッジについて、必要な方と不要な方の二通りの方法は取れないか。それと全日本キス・カレイの副賞（釣具）ですが、余り廉価な商品よりも、賞数を減らしてでも、高額な商品にし

てほしい。

- ・としだ大物部長、大物バッジについて、現状で二通り制度をおこなうと、バッジ不要の方が多く居ると思います。そうなると必要な方には現在の申請料では賄えなくなるので、大幅アップになる。また、大物部として必要・不要と二重の事務作業となり、事実上運営が煩雑になることから、二通りの制度は難しい。
- ・連盟会長、副賞の件ですが、本来釣り大会の副賞はおまけ的なもので、目的は競技にあります。上位者を称えるのに、高額、低額を問題視するより、競技に目を向けて欲しい。ただ、現行の副賞購入にあたり、多くの諸条件がある中、廉価商品であっても、購入の必要はあるので、廉価商品をセットにする工夫もおこなっております。

永松大分協会事務局長

◎連盟主催の SC 競技大会の表彰ですが、参加人数の少ない種目については 1 位のみ表彰としている。表彰品不要でも良いから 3 位まで表彰台に立てるよう、配慮してほしい。次にルールの解釈に個人差があるようです。例えば着地投法とスウィング投法に、紛らわしい投法で投擲する会員さんが居ます。判定にあたり、競技をストップさせる必要が生じ、運営上に大変支障がある。したがってルール解釈の徹底を図るため、以前おこなっていた SC 研究会を年一回は開催してほしい。

- ・松井 SC 部長、表彰の件は予算上のこともあり、ご指摘の表彰でおこなっている。しかし、表彰品不要であれば、予算に影響しないので要望通り扱います。SC 研究会については、ご指摘の微妙ではあるが着地投法は、投擲前に少しでも地面から錘が浮けば失格です。それらの徹底を図るため SC 研究会を開催してほしいとのご提案ですが、一つの案として常任理事会の開催前に、必要に応じて開く SC 部会で用は足りると思います。
- ・連盟会長、表彰の件は、不要と言うなら、問題ありませんが研究会の件は、一部の精通した方だけの参加で、しかも短時間の協議で、周知徹底を図るのは難しく思います。やはり協会が選出する公認審判員の参集がベストに思います。しかし、それには多額の費用を要することも事実です。釣り大会と違い何千名の参加などあり得ないし、仮に、あったとしても運営は不可能です。したがってキャスティング人口だけで予算は賄えないので、連盟の補助は必然に思います。連盟会長として全日本サーフ設立以来の二本柱です。当然 SC 愛好者の要望に応え、助成を惜しむものではありません。しかし、問題は予算です。まずは SC の問題は SC で解決を図る姿勢も必要だと思います。何かを満たすため、何かを節約するのは当然です。節約の優先順位を検討する必要があります。
- ・大石議長、投法の件は、提案者の永松氏にペーパー（図解）によるものを作成していただき、併せてデジカメ撮影や動画撮影などパソコンを使い、説明できるような方法も考えていただきたい。

■審議 4

平成 23 年度行事日程

大田事務局長 ・来年度の日程を決める前に、来年度に記念行事を開催される協会さんがありましたら、発表してください。（表明協会なし）次に新年総会および懇親会の案内は年末総会が終わり次第発送いたします。期日および場所は以下です。

開催日 平成 23 年 1 月 30 日（日） 場所 新大阪ワシントンホテルプラザ

時間 総会・正午～14 時 30 分 2 階老松（総会の終了時間は予定です）

懇親会・15 時～17 時まで 2 階紅梅

住所 大阪市淀川区西中島 5-5-15 電話 06-6303-8111

- ・行事日程については事務局から、協会長まで日程表を送ります。同時にホームページでも掲載いたしますので、ご確認ください。

■審議 5

その他

大田事務局長

- ・新年総会で配布する事業報告書の作成に関連する部局には、作成資料を 1 月 12 日の期日までに、連盟会長まで送ってください。(メール・郵送可/ファックス不可)

三上北陸協会長

◎来年の 100 人会会場を担当するが、打ち合わせの集まりとは、どのような内容でおこなうのかお聞かせ願いたい。

- ・連盟会長、選手から、年度によってルールが違うなど戸惑う部分があると苦情を聞きます。具体的には決勝戦のブロックが、年によって二つであったり、三つであったりする。それ以外にも、統一が出来ていない事項の有無も検討したい。

谷後兵庫協会長

◎今期を以って兵庫協会長の職を辞することになりました。後任には三ツ星サーフの渡辺敏夫氏が就任いたします。三期 9 年間の協会長職でありましたが、その間公私ともにお世話になりましたことをこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

- ・大石議長、長時間の審議ご苦勞様でした。本日の審議事項は一部修正箇所などを除いて全て採決されました。承認は明日の年末総会に於いておこないます。

・大田事務局長

明日 5 日の年末総会ですが、本日と同じ会議室でおこないます。総会は正午開始としておりますが会議室は午前 9 時 30 分から、使用できます。

平成 22 年度年末総会議事録

日時：平成 22 年 12 月 5 日（日）12 時 00 分～15 時 02 分

場所：新大阪丸ビル新館 4 階 402 号会議室

■連盟会長挨拶

皆様こんにちは、何かと気忙しくなる 12 月です。そんな中にも関わらず前日の会議また、本日の年末総会にご出席いただき、ありがとうございます。尚、昨日の会議では各協会から提出いただきました懸案事項及び来期の行事日程等の審議を十分おこないました。本日は採決事項に承認をいただく総会です。最後までよろしく願いいたします。

■審議 1

第 93 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会成績報告 PT 大分協会

永松大分協会事務局長

- ・井上協会長になって初めて大会プロジェクトの担当を手掛けました。不慣れと言うことで、ご迷惑をお掛けした点もあったかと思いますが、皆様のご協力により、無事終了することができました。

注・成績については、配布の成績表またはホームページでご確認願います。

■審議 2

協会提出事項

大阪協会

- ・初年度登録者の連盟会費の免除を継続してほしい。
- ・参加バッジを廃止して大会 PR や賞品に反映してほしい。
- ・大物賞申請システムに異種枠表彰者機能を追加してほしい。
- ・会員拡充策を専門に検討する部会を設けてほしい。

北陸協会

- ・キス段位制獲得者を対象とした競技会を開催してほしい。
- ・オープンイベントの周知徹底を図ってほしい。
- ・同じく協賛メーカーさんを連盟ホームページに掲載してほしい。

千葉協会

- ・大物バッジの発行を必要・不要と区分けしてほしい。

- ・全キス・カレイの副賞で廉価な品より、賞数を減らしてでも、高額品にしてほしい。

大分協会

- ・SC 競技会の表彰枠を増やしてほしい。
- ・ルールの徹底化を図るため、以前開催していた SC 研究会を復活してほしい。

注・4 協会 11 事項に対する回答は、本会でもおこなっておりますが、内容については 4 日会議の議事録にてご確認ください。

◎木村中部協会長、全キス・カレイの副賞準備は PT でおこなえないのか？

- ・連盟会長、前日会議に欠席と言うことで、ご存知なかったと思いますが、会報広告の充実を基本に、副賞購入や運営の諸条件を明記した資料を配布いたしました。したがって資料をご確認の上、希望されるのであれば事務局までご連絡ください。

■審議 3

各部局報告

- ・大物部、日本記録魚認定から、保管に至るまでの詳細を明文化するよう、来年度の連盟会議に於いて検討いたします。また、大物還付金は新年総会でおこないます。
- ・事故防止部、改定事故防止規定の一部文言の修正をおこないます。

注・以上は前日の（4 日）会議で、言い表していないものです。その他は 4 日会議の議事録および会議で配布された資料にてご確認ください。

- ・池田議長、それではここまでの事項について質問を受付けます。質問には挙手の上、協会名・所属クラブ名と氏名並びに、質問事項を述べてからおこなってください。

◎木村中部協会長、会計部長にお尋ねします。準会員の制度があるが、現在一人居ると聞いている。他には居ないのか？また、自分の協会近くに入会希望者が居たとき、該当協会に連絡はあるのか？それと役員活動について内容を会報に掲載してほしい。宮城協会の 40 周年に関する記事は無かったと思う。

- ・連盟会長、準会員に関してはホームページを管理している当方からお答えします。その前に、現在一人いる準会員さんは東京在住の方です。来年度は正会員として登録し、入会クラブも決まっております。そのことは森東京協会長もご存知です。質問の件ですが、ホームページの入会欄を通じて連絡があった場合、連絡者在住の協会長さんまで、必ず連絡メールを転送しています。宮城協会の記念行事に関する記事は次号の会報に掲載しております。

◎木村中部協会長、監査役の一員として 1 月 9 日の本部会計監査では慎重におこないたいと思います。

◎藤原岡山協会副会長、事故防止部長にお尋ねします。改定規約の中で、規定の定義から外れている部分が見受けられる。全日本サーフの定義が何処にあるのかお示し願いたい。

- ・谷後事故防止部長、改定の意図として、手帳に記載されている各項目に解り難い部分があると言うことで改定することになった。
- ・ヘルメットの追記は、二年前の釣り場で発生した転落死亡事故を契機に既存商品を連盟推奨品として販売し、被ることを勧めている。飲酒については多々見かけるので連盟大会時は釣り場での飲酒を禁止するとした。（SC 競技会と同様です）
- ・法的云々は、趣味組織としてあまり堅苦しくならないよう、数度の連盟会議で議論し、まとまったものを 4 日の会議に提出したものです。

◎藤原岡山協会副会長、次に日本記録魚の魚拓保管について当方の認識を公表します。連盟は提出した魚拓を返却するのが大原則です。「日本記録の魚拓は次の更新があるまでは連盟が預かり置く」とされていた。さらに、保管は鍵付きのロッカーと決まっていた。40 周年の記念誌に掲載されているものが、不明となっているのに、本人に知らされていないのも問題に思う。その辺りについて回答願いたい。

- ・としだ大物部長、前任者から引き継いだとき、著しく損傷の激しいものや変色しているものなどがあつた。40 周年の記念誌掲載の依頼を受け、引き継いでいた魚拓の全てを編集部へ送った覚えはある。その中にご指摘の魚拓が存在していたのは、記念誌から明らかです。また、平成 21 年に経年による変色等が著しいので、連盟会議に諮りラミネート加工を施すことを認めてい

ただき、全てを整理した。加工の基本として日本記録（更新されたものも含む）・同魚種となっても綺麗なもの・釣れ難い魚種を抜き出した。その結果ご指摘の魚拓を含め 14 枚の日本記録魚拓が含まれていなかった。紛失の原因としてご指摘の魚拓ともう 1 枚については記念誌掲載撮影で、編集部へ送付・返送などによることが原因と推認されるので当方の不手際であると認めます。他の分については、どの段階で紛失したのか、引継ぎの拙さから、今となっては明確ではありません。いずれにしても、現大物部長としてご迷惑をお掛けしましたことを再度お詫びいたします。今一度不明魚拓の追跡調査をおこない、その結果に於いて何らかの手立てを考えます。さらに日本記録魚の申請から、保管に至るまで、最良の策を投げ釣り手帳等に明文化することを図ります。

- ◎前島鳥取協会長、大物部長は謙虚に謝罪していることでもありますから、それはそれとし、今後の事として紛失魚拓の当事者に連絡して予備の魚拓は無いか確かめてみてはどうか。
- ・連盟会長、不明魚拓を探し、予備のあるものはコピーなどの措置を取りたい。さらに、保管方法などを検討し、紛失などは二度と起きないようにいたします。

■審議 4

平成 23 年度行事日程

- ・詳細は配布日程表およびホームページ（各種申請書のコーナー）でご確認願います。

◎行事抜粋

- ・5 月 15 日全日本 SC 協会対抗戦 PT 広島協会
- ・6 月 19 日第 94 回全日本キス PT 高知協会
- ・6 月 26 日第 34 回東西 100 人の会 PT 本部/北陸協会
- ・7 月 10 日第 43 回全日本クラブ対抗キス PT 大阪協会（京丹後市）
- ・10 月 16 日全日本 SC 選手権大会 PT 香川協会
- ・11 月 20 日全日本カレイ PT 徳島協会
- ・春季 SC 通信競技会 2 月 6 日～4 月 24 日
- ・夏季 SC 通信競技会 7 月 3 日～10 月 9 日

■審議 5

その他

- ・谷後事故防止部長、本会で配布した改定案の中で、ヘルメット着用に関する文言に釣り場の如何に関わらず着用を強いているとの誤解を招くと指摘を受けた。防止部は指摘を検討した結果それを認め文言に修正を加え、後日配布いたします。尚、それ以外については配布の通りです。
- ・帷企画部長、日本記録魚の魚拓についてですが、承認後の保管を考えるとその責任は重大である。そこで提案ですが、デジカメ撮影をおこない、魚拓は申請者に返却し、連盟の周年使用には申請者に借りるなどの方法などもあると思います。
- ・としだ大物部長、企画部長の提案などを参考に、申請から保管に至るまでを検討し、紛失魚拓の調査結果とともに、来年早々の連盟会議で発表いたします。
- ・松井 SC 部長、協会の SC 競技会に於いてレクリエーション保険（以後レク保険）に加入することは必須です。但し、加入先については協会の任意としていましたが、加入証明書や成績報告の提出が、無い・遅れるなどで、SC 部の事務作業が停滞しております。したがって来年度から、連盟 SC 競技会に一括加入している包括レク保険に、前年度の実績に基づき協会分を組み込んで加入をいたします。これにより、協会自体は今までのように、レク保険の加入手続きは不要となります。保険料（1 人、210 円）については、成績表に基づき、保険料を明記した振込用紙を SC 部から送付しますので、そのおりにお支払い願います。
- ・池田議長、連盟会長の今年度任期満了により、10 月末を立候補の締め切りとしていたが、他に立候補者の届けはありませんでした。11 月の常任理事会では来期も引き続き、岩田現連盟会長を推薦いたしました。本総会に於いて承認を求めます。

◎満場一致の拍手により、岩田政文氏を次期連盟会長として承認いたしました。

- ・岩田連盟会長、引き続き、来期連盟会長をお引き受けいたします。至らぬ点多々あると思いま

す。各位には叱責も含めてのご意見もあるかと思えます。前向きなご意見は真摯に受け止め、例え耳障りなご意見であっても反省すべき点は改める努力もおこないます。また、当方から各協会の皆様にご意見などお聞きする場合には、よろしくご協力をいただきたいと思います。その結果が全日本サーフの発展に繋がるものと思えますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

- ・金田北九州協会長、個人的なことで恐縮いたしますが、先般北九州協会長を辞する旨の封書を協会長さんにお送りさせていただきました。突然のことで受け取られた皆様には大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。退任の大きな理由は体力の限界によるものです。他にはありませんので、ご心配をお掛けしました。

また、在任中は、大勢の皆様にお世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後も全日本サーフの一員であることには変わりはありませんので、心中より、全日本サーフ発展を願っております。

- ◎来年度から北九州協会長に就任する中島康彦氏（福岡サーフ）挨拶、協会運営は一人の力では成しえないと自覚しております。金田協会長の意思を繋げ、全日本サーフのご指導・ご鞭撻のもと、北九州会員一同と手を携えて頑張る所存でございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

- ・岩田連盟会長より、金田筆頭副会長へ長年の功労に対し、記念品を添えて感謝状を贈呈いたしました。

◎日本記録魚の認定

- ・魚名 コロダイ ・寸法 88.8cm（拓寸）/84.6cm（実寸）
- ・釣り人 生田隆博氏 兵庫協会 神戸中央サーフ所属
- ・釣り日 平成 22 年 9 月 20 日 ・釣り場 高知県室戸市佐喜浜町

第 2 号議案 大阪・兵庫合同納竿大会報告（事務局）

- ・先日、開催された合同納竿大会について成績表の配布と、報告があった。今回は、大阪協会の成績が良かった、天気も良く事故も無く終了することが出来た、当日お手伝い頂いた方については釣り時間も短い中、有り難うございました。

第 3 号議案 2011 年度行事日程について（事務局）

- ・全員で協議をし、本年度の協会行事の日程を決めた。完成品は次月に配布すると HP にも掲載する。

第 4 号議案 2011 年度会員登録について（事務局）

- ・会員登録の書類を配布し説明があった。1 月理事会にて必ず登録手続きをしてほしい。本日「投げ釣り」手帳を現会員数で配布しているが、登録時に調整をさせていただくので、余ったり不足があれば登録時に申し出てほしいとの依頼があった。
- ・連盟指定の釣り保険会社以外で、保険加入される場合は、必ず加入の写しを付けて下さい。
- ・特に入会年月については、在籍表彰の事もあるので正確に記入して下さい。

第 5 号議案 協会初釣り大会について（PT 滋賀投友会）

- ・要項（案）について説明があった。開催日は、2 月 6 日に決定。
- ・参加申込の締切は、1 月理事会にて行うとの要請があった。
- ・本賞の表彰が、1 位～50 位となっているが、参加者数によっては 30 位になる可能性がある。

第 6 号議案 協会大物トーナメントについて（湯浅大物事務局長）

- ・来年から開催される協会大物トーナメントについて資料配付と説明があった。
- ・大会期間中の途中経過については、協会 HP にも掲載する。

その他

・広報部より、協会 HP の更新内容の報告があった。写真の提供が少ないので是非協力してほしい旨要請があった。

20 時 30 分閉会